

NATIONAL PRINTING BUREAU

RECRUIT  
MAGAZINE

## 国立印刷局

Since  
1871

FUTURE

CHALLENGE!

TRADITION

ミライを作れ。  
挑戦の後に伝統がある。

やるべき仕事は、公務なのか、ものづくりなのか。

動画でわかる!  
私のリアルな1日ミライを作れ。  
挑戦のあとに伝統がある。

受け継がれ、進化を積み重ねてきた洗練の技術。  
これは時を経たことで磨かれてきたわけではない。  
“唯一無二”でなければならないという使命感を胸に、  
挑戦を続けてきた証に他ならない。  
「いま」は先人の挑戦の歴史の延長線上にある。  
ならば私たちもいま挑戦しよう。  
未来をつくるために

国立印刷局

## RECRUITING INFO 採用情報

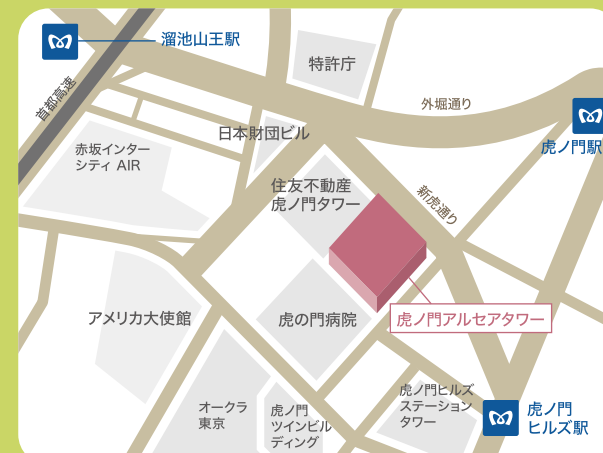
|      |                                |            |      |                           |
|------|--------------------------------|------------|------|---------------------------|
| 初任給  | 総合職(大卒程度)                      | 285,100円程度 | 休日   | 土曜日、日曜日、祝日、年末年始           |
|      | 一般職(大卒程度)                      | 270,200円程度 | 休暇   | 年次有給休暇、病気休暇、特別休暇          |
|      | 一般職(高卒者)                       | 231,100円程度 |      | (夏季、結婚、出産、忌引、ボランティアなど)    |
|      | 本局採用(大卒・高専専攻科卒)                | 270,200円程度 | 社会保険 | 財務省共済組合                   |
|      | 工場採用(大卒・高専専攻科卒)                | 259,500円程度 | 共済事業 | ●医療費、出産費、育児休業手当金など支給      |
|      | 高等専門学校本科卒                      | 245,300円程度 |      | ●土地、住宅の購入資金及び臨時の支出に対する貸付、 |
|      | 高等学校卒                          | 227,100円程度 |      | 一時保育サービス、介護サービスの利用の助成     |
|      | (令和7年度実績)※東京都特別区に所在する機関に勤務する場合 |            |      | ●国家公務員共済組合連合会運営の宿泊施設の     |
| 昇給   | 年1回(4月)                        |            |      | 組合員価格での利用                 |
| 賞与   | 年2回支給(6月・12月)                  |            |      | ●委託事業の福利厚生サービスによる宿泊施設、    |
| 諸手当  | 扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当など        |            |      | スポーツクラブ、飲食店等の会員価格での利用     |
| 勤務時間 | 7時間45分(1日)                     |            |      |                           |

独立行政法人  
国立印刷局〒105-8445 東京都港区虎ノ門2-2-3 虎ノ門アルセアタワー  
<https://www.npb.go.jp/>採用問い合わせ  
本局 採用担当 E-mail jinji-sai@npb.go.jp

## アクセス

東京メトロ銀座線 「虎ノ門駅」3番出口徒歩3分  
東京メトロ日比谷線 「虎ノ門ヒルズ駅」A2b番出口徒歩3分  
東京メトロ銀座線/南北線 「溜池山王駅」9番出口徒歩5分  
東京メトロ丸の内線/千代田線 「国会議事堂前駅」3番出口徒歩10分

●この印刷物は、グリーン購入法適合の用紙を使用しています。





# やるべき仕事は、 公務なのか、ものづくりなのか

答えを出すとすれば、それは両方。

つくっているもののすべてが、国民生活に密着した公共性の高い製品。

唯一無二のものづくりに邁進する、国家公務員の働き方がここにある。

## 社会を支える想いと私たちが目指すべきこと

国立印刷局は、決済システムの中で重要な役割を果たす日本銀行券（お札）や、法令など政府情報の公的な伝達手段である官報をはじめ、旅券（パスポート）、郵便切手、印紙など、国民の皆様の生活に密着した公共性の高い製品や、情報サービスを供給する役割を担っています。前身である大蔵省紙幣司が明治4年（1871年）に創設されて以来、令和3年には創立150年を迎え、この間、高品質の製品を安定的に供給してきました。

日本銀行券は、令和6年7月3日に改刷が行われました。新しい日本銀行券は、偽造抵抗力の一層の強化が図られるとともに、ユニバーサルデザインによる券種毎の識別性の向上が図られています。

官報については、社会・経済のIT化に対応し、利用者の利便性を向上させる観点から、インターネットでのサービスを充実させ、その普及に努めています。

また、旅券については、令和7年3月から新しい「2025年旅券」が発給開始となり、顔写真ページにプラスチック基材を用い、文字や顔写真を

レーザーにより印字・印画するなど、偽変造対策を大幅に強化しています。

このほか、郵便切手、印紙・収入証紙など、公共上の見地から高いセキュリティ性や信頼性が要求される多くの製品には、私たち国立印刷局の様々な偽造防止技術が使われています。

こうした生活に無くてはならない社会インフラが円滑に機能するためには、まずは私たちが質の高い製品・サービスを提供することが必要です。あわせて、広く国民の皆様国立印刷局の使命・役割や事業内容を理解してもらうことによって、私たちの業務への信頼感を深めてもらうことも必要不可欠です。

国立印刷局は、こうした両面の努力を尽くし、与えられた使命を確実に果たすことにより、日本経済の更なる発展と、国民生活の安定に貢献していきます。



国立印刷局は「通貨制度の安定」という大きな目的に対して、通貨行政の企画・立案を担う財務省と日本銀行券の発行機関である日本銀行とともに、製造機関としての役割を担っています。

